

# 全木連時報

11月25日(木曜日)  
(第632号) (毎月25日発行)  
平成22年(2010年)

発行所  
社団法人 **全国木材組合連合会**  
編集長 尾 蘭 春 雄  
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580) 3215  
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

〔全木連時報〕の購読料は年会費に含まれています。

## 森と木とすまいツアー&セミナーを開催

全木連は、「森と木とすまいツアー&セミナー」を10月22日(金)に開催した。

このセミナーは一般消費者を対象として、毎年秋に実施しているもので、一日で林業地(山林)から製材工場、木材ストックヤード、木造住宅のモデルハウス等まで効率的に見学できる上に、事業者・専門家から現場の話が聞けるといふことで参加者から好評を博している。今回のツアー&セミナーは

埼玉県西部の飯能市を中心とした西川林業地と近くの製材工場等を見学地として秋の午後半日での開催となった。今回は、主に首都圏在住の消費者44名が参加した。当日は、地元の協同組合フォレスト西川の大河原理事長に講師をお願いした。このツアー&セミナーは、現在の林業・木材産業の概要や、説明を受けた後、実際の林業地(山林)に入った。心配された前日の雨も止みひんやりとした山中に入り、西川林業地の手入れの行き届いた山林を見ながら木の見分け方から林業の現場についての話を聞いた。その後、移動し木材のストックセンターや木材加工場の施設、木材乾燥機等を見学し丁寧な説明を受けた。参加者からは、「実際に山に入ると林業の現場の雰囲気がよく分かった。」「森林にあって気持ちが良かった。」等の意見が聞かれた。また、バスの中で木材の加工にかかるコスト等の

### おめでとございます 栄えの叙勲・褒章 (22年秋)

(敬称略)

旭日小綬章 竹内 福治(東京)  
黄綬褒章 小林 忠次(山梨)  
(以上、農林水産省関係受賞)

旭日小綬章 古賀 富夫(佐賀)  
旭日双光章 横山 久雄(大分)  
旭日双光章 細江 覚郎(岐阜)  
(以上、他省庁関係受賞)



熱心な質問が出された。同様のツアー&セミナーは、11月24日(水)に

も群馬県桐生市で開催した。

目次
一面 森と木のすまいツアー&セミナーを開催 栄えの叙勲・褒章
二面 農林水産省で木材PR
三面 中型グループ共済の加入拡充を 林野庁補正予算
四面 景況調査



森と木とすまいツアー&セミナー  
(木材加工場にて)

## 農林水産祭で木の良さをPR 日曜大工教室を開催

農林水産省と(財)日本農林漁業振興会主催の平成二十二年度(第四十九回)農林水産祭「実りのフェスティバル」が十一月十二日及び十三日の二日間、東京都江東区有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催された。天候にも恵まれて多くの入場者で賑わった。入場者数は四万六千人。

農林水産祭は、国民共に収穫を喜び、農林水産業に対する理解と関心を高め、農林水産物の消費拡大を図るため、都道府県、中央・地方の農林水産団体が協力して毎年十一月に開催しているもの。

会場では、政府特別展のほか、農林水産団体の展示・即売と、都道府県による郷土農林水産物の展示・即売等が行われた。このフェスティバルの林産部門として全木

### 参加団体(十二団体)

(社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、全国天然木化粧合板工業協同組合連合会、全国木材防虫JAS協議会、全国木造住宅機械プレカット協会(財)日本合板検査会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、(財)日本住宅・木材技術センター、日本特用林産振興会、日本木材防腐工業組合、NPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク

### 協力機関

日本日曜大工クラブ。  
催しの内容

「日曜大工教室」日曜大工クラブの会員が指導にあたり、踏み台、道具箱等あらかじめキット加工したものを製作し



## 北海道産木材を展示・PR

十月十四日に北海道札幌市で第四十五回全国木材産業振興大会が開催された(既報)。大会では新しい試みがみられ、会場ホールには北海道産木材の展示コーナーが設けられ、参加者の関心が高かった。展示は、これまでも行われてきたが、今回のような本格的なものは初めてと思われる。



た。無料とあって参加希望者が多く、人数制限をするほどの盛況であった。

◆ 天皇杯コーナーでは、今年度受賞者のプロフィールを紹介。林産部門の協和木材(株)(福島県)について詳細に語られていた。



## 企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年  
中型グループ

などの備えに ケガ・病氣入院	従業員のために <b>中型グループ</b>	<b>総合賠償補償制度</b>	第三者への事故対策に
	経営者のために <b>総合保障プラン</b>	<b>任意労災保障制度</b>	労働災害への対策に
		<b>木退共</b>	従業員の退職金の準備に
		<b>積立終身</b>	経営者の退職金などの準備に

## 全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
TEL 03-3580-3215(代)

# 中型グループ共済の加入拡充を

全木協連が運営する中型グループ共済は、傘下事業所役員、従業員の業務上、業務外の事故を幅広く保障する生命共済保険。開始以来三十六年を迎えた。全木協連では共済事業は事業の中核であり、今年度重点的に加入推進にあたることにしている。

## 割安な掛金で大きな保障

この制度の特徴は、割安な掛金で大きな保障が得られること、簡単な手続きで加入できること、一年更新のため経済情勢にあわせ必要な保障額を選べること、掛金は損金または必要経費に参入できることなど。

## 掛金は45歳男性なら月額486円

掛金は男性、女性とも三十五歳以下は一定、その後年齢に応じ五歳ごとに掛金が変わる。たとえば、男性四十五歳であれば、掛金は月額四百八十六円で、保障内容は不慮の事故により入院した場合は、一日につき千六百五十円の入院給付金、病气死亡のとき百十萬円の死亡保険金が保証される。十四歳六カ月超七十歳六カ月以下の方が

### ◎保障内容

型	I型	II型	III型	IV型	V型
① 不慮の事故による死亡・高度障害のとき (死亡・高度障害保険金+災害保険金(障害給付金) ※うち災害保険金(障害給付金))	2,000万円 ※1,000万円	1,400万円 ※700万円	1,100万円 ※550万円	660万円 ※330万円	220万円 ※110万円
② 病気による死亡・高度障害のとき (死亡・高度障害保険金)	1,000万円	700万円	550万円	330万円	110万円
③ 不慮の事故で障害状態にられたとき (障害給付金第2級～第6級)	程度により 700～100万円	程度により 490～70万円	程度により 385～55万円	程度により 231～33万円	程度により 77～11万円
④ 不慮の事故で5日以上入院されたとき (120日限度) (入院給付金)	1日につき 15,000円	1日につき 10,500円	1日につき 8,250円	1日につき 4,950円	1日につき 1,650円

### ◎月額掛金

型		(単位:円)				
加入年齢	性別	I型	II型	III型	IV型	V型
15～35歳	男性	3,520	2,464	1,936	1,161	387
	女性	2,950	2,065	1,623	974	325
36～40歳	男性	3,890	2,723	2,140	1,284	428
	女性	3,400	2,380	1,871	1,122	374
41～45歳	男性	4,420	3,094	2,431	1,458	486
	女性	3,670	2,569	2,019	1,211	404
46～50歳	男性	5,360	3,752	2,948	1,769	589
	女性	4,190	2,933	2,305	1,383	461
51～55歳	男性	6,830	4,781	3,757	2,254	751
	女性	4,900	3,430	2,696	1,617	539
56～60歳	男性	8,820	6,174	4,851	2,910	970
	女性	5,490	3,843	3,020	1,812	604
61～65歳	男性	11,790	8,253	6,485	3,891	1,297
	女性	6,690	4,683	3,680	2,208	736
66～70歳	男性	—	—	—	—	1,966
	女性	—	—	—	—	995
型	性別	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳
V型	男性	2,547	2,774	3,024	3,306	3,632
(更新される方のみ)	女性	1,229	1,337	1,460	1,603	1,768

こんな場合に  
お役に立ちます

加入できるただし、六十六歳以上は死亡保険金百十萬円のコースのみになる。更新は七十五歳六カ月まで継続できる。

▼二十六歳男性。工場でフォークリフトと木材の間に挟まれ、足を骨折。入院給付金を給付。  
▼二十九歳男性。スキーの間に骨折。入院給付金給付。  
▼四十九歳男性。トラックに荷物の積込み中、足を滑らせてトラックの荷台から転落。入院給付金を給付。

# 林野庁補正予算の概要

## 平成22年度 林野庁関係補正予算(第1号)の概要

平成22年10月  
林野庁

補正追加額 637 億円

(単位:百万円)

追加項目	追加額		
	非公共	公共	計
1 森林・林業再生総合対策 木造公共施設等整備、住宅等の地域材活用支援、環境整備による里山再生の実施	9,400		9,400
2 集約化森林整備等緊急対策 集約化森林整備緊急対策 路網整備加速化緊急対策		17,000	17,000
		5,000	5,000
3 山地災害等の防止対策 治山事業等を実施し地域の安全・安心を確保		12,000	12,000
		25,500	25,500
4 災害復旧等事業費 山林施設災害復旧事業等		11,844	11,844
合計	9,400	54,344	63,744

(参考) 上記のほかに

- (1) 農山漁村地域整備交付金により、森林基盤整備事業を追加実施(321億円の内数)。
- (2) 事業を円滑に実施するため、国庫債務負担行為(ゼロ国債)の補正(治山事業171億円(事業規模))を計上。

林野庁の平成二十二年度補正予算の概要は別掲のとおり。木材産業に関連するのは、「森林・林業再生総合対策」の九十四億円で、具体的には次のとおり。

① 公共建築物木材利用促進法の着実な推進のために行う、公共建築物の木造・木質化、木製品等への地域材利用の促進  
学校の武道場、社会福祉施設等の整備が対象  
地方公共団体向けの定額(標準的な単価)助成  
・ 地域材の利用・五万円/㎡  
(地域材の使用量に応じた支援)  
・ 木造公共施設の整備・十三・五万円/㎡(建築する施設の床面積に応じた支援)

② 産地が明らかな木材を住宅等に利用した場合の支援  
都道府県などが実施している県産材を利用した場合の助成措置に対する拡充措置(制度がないところは新設、制度があるところは枠や対象範囲の拡大、金額(上限あり)の拡充)などが想定される。  
注3 この内容は今後、変更になる可能性がある。

注1 支援を受けるためには、各都道府県の協議会に参画することが必要。  
注2 内容は、今後、変更になる可能性がある。

【木質内装整備のみの場合・四・五万円/㎡】

景況調査=全木協

22年10月分集計表 ( )内は実数

〔流通部門〕

モニター数108 回答数60 回収率56%

当月の状況

販売量	増加37% (22)	変わらず46% (28)	減少17% (10)
仕入量	増加32% (19)	変わらず45% (27)	減少23% (14)
販売価格	上昇8% (5)	変わらず87% (52)	下降5% (3)
仕入価格	上昇20% (12)	変わらず68% (41)	下降12% (7)

来月の見通し

販売量	増加27% (16)	変わらず60% (36)	減少13% (8)
仕入量	増加22% (13)	変わらず63% (38)	減少15% (9)
販売価格	上昇5% (3)	変わらず90% (54)	下降5% (3)
仕入価格	上昇13% (8)	変わらず79% (47)	下降8% (5)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	2% (1)	82% (42)	16% (8)
南洋材	15% (7)	74% (35)	11% (5)
北洋材	14% (7)	76% (38)	10% (5)
国産材	18% (10)	71% (39)	11% (6)
建 材	14% (7)	70% (34)	16% (8)

乾燥材取引の頻度	増加 12% (7)	変わらず 88% (49)	減少 0% (0)
----------	---------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数116 回答数74 回収率64%

当月の状況

販売量	増加39% (29)	変わらず46% (34)	減少15% (11)
仕入量	増加31% (23)	変わらず54% (40)	減少15% (11)
販売価格	上昇14% (10)	変わらず81% (60)	下降5% (4)
仕入価格	上昇28% (21)	変わらず65% (48)	下降7% (5)

来月の見通し

販売量	増加38% (28)	変わらず51% (38)	減少11% (8)
仕入量	増加32% (24)	変わらず56% (41)	減少12% (9)
販売価格	上昇5% (4)	変わらず94% (69)	下降1% (1)
仕入価格	上昇22% (16)	変わらず73% (54)	下降5% (4)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	10% (3)	69% (20)	21% (6)
南洋材	17% (4)	74% (17)	9% (2)
北洋材	14% (3)	77% (17)	9% (2)
国産材	22% (14)	62% (39)	16% (10)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 62% (8)	1ヵ月 30% (4)	1ヵ月以上 8% (1)
---------------	------------------	----------------	-----------------

十月は、流通・製造部門とも販売量は増加した。販売量は前月に続き「増加」となり堅調であった。ただし仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加した。また、販売価格については、流通・製造部門とも変わらなかった。仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

十一月は、流通・製造部門とも、販売量は増加の見通しである。仕入量については、流通部門では増加の見通しである。販売価格、仕入価格は変わらないの見通しである。三ヵ月後の相場予想については、流通・製造部門とも、南洋材、北洋材、国産材は保ち合い予想である。米材については、流通部門では保ち合い予想、製造部門では弱含み予想である。また、建材は保ち合い予想である。

調査結果は、販売量が二ヶ月連続の増加となり、堅調さが見られた。ただし仕入量については結果が分かれており、全体的な荷動きのアップとまでは言えないのではないかと。また、限定的な動きと見られる。来月の結果が期待される。

木材業景況調査の概要(十月分)

の頻度」については、全体の傾向と同様に「変わらず」の回答が主であるが、乾燥材の一定の取引は定着していると見られる。プレカット工場の操業状況は回復しつつある。

林業・木材産業経営安定化保証  
(通称フォレストパートナー保証)を受け付けています。

- ◎ 木材産業等高度化推進資金や間伐資金などで100%保証が受けられます
- ◎ 最大8,000万円まで無担保保証が受けられます(運転資金)



詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コープビル11階)  
TEL 03(3294)5585 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com